きよさと組合だより

JA 清里町

No.336

もくじ

年頭にあたって　清里町農業協同組合 代表理事組合長　石井　透…2
平成28年の年頭にあたり　北海道農業協同組合中央会会長　飛田　稔章…4
新年のご挨拶　清里町農民連盟委員長　山崎　一幸…5
新年のご挨拶　ホクレン斜里原料所所長　泉　佳史…6
新年のご挨拶　網走農業改良普及センター清里支所支所長　高松　聡…7
新年のご挨拶　清里町農協青年部部長　湯浅　尚樹…8
新年のご挨拶　ＪＡ清里町女性部部長　菊池　淳子…9
第４回ＪＡ清里町大収穫感謝祭…10
新規共済契約者様温泉旅行親睦会…11
第30回ＪＡ清里町女性部研修会…12
清里産きたほなみラーメン試食会…13
ＧＰＳ実演会開催…14
各課紹介　業務課…15
食べる・たいせつフェスティバル２０１５ ｉｎ北見に参加…16
年末・年始の業務日程…16
理事会の経過をお知らせ致します…17
ご結婚おめでとうございます…18
組合員状況…18
知って納得！　税金講座…19
四季の花作り…19
お肉を食べて健康に！…19

2016年 1 平成28年

年頭のご挨拶

年頭にあたって

清里町農業協同組合
代表理事組合長　石井　透

新年明けましておめでとうございます。

組合員並びにご家族の皆様にはご健勝の中、新年を迎えられますことにお喜び申し上げます。本年も天候に恵まれ、1年の成果が実を結び飛躍の年となりますことをご祈念申し上げます。

また、日頃より農協事業推進にご理解とご協力を頂き心より敬意を表する次第です。

本年度も役職員一丸となり組合員皆様の負託に応えられ事業展開を図り経営、生活の向上に寄与できるよう努め今後心配される多くの諸問題に対し即応できる組織体制の構築、事業運営を進めてまいりますので組合員皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

昨年を振り返りますと、畑作物は全道的な豊作基調の中で推移し当農協においても秋まき小麦、てん菜では、記憶と記録に残る年となりました。

春先より温暖な日が多く順調に蒔き付けが進み、その後の天候も安定し各作物の生育も平年を大きく上回る作況となり、出来秋が期待できる年となる様願っておりました。

その期待の中7月末日より「きたほなみ」の刈り取りが始まり、「春よ恋」につきましては8月9日から行い8月17日で刈り取りを終了しました。期間中におきましては、麦作集団での相互協力の中事故も無く収穫作業を終えましたことにお礼申し上げるところです。

「きたほなみ」におきましては平成21年より作付けしておりましたが、品種の特性である多収性が中々発揮できず、肥培管理等創意工夫し、ようやくここ数年その成果が見え始め、年々単収が伸びてきております。昨年においては天候が良好なこともありましたが、今までの経験と栽培技術の向上が実を結んだ年になったと思っております。「春よ恋」につきましては、生育期間中の少雨の影響もあり製品歩留まりが平年を下回り還元率が低くなりましたが、平年並みの収穫量を確保できました。また麦類全量1等Aランクに入り収量、品質とも確保でき安堵しております。

馬鈴しょは順調な生育の中進んでおりましたが、7月、8月と旱魃気味の天候となり生育への影響を心配しておりましたが、収量調

査結果を基に澱粉工場の操業は9月1日より始め11月19日に磨砕を終了し、操業期間80日にわたり事故もなく無事に操業を終了することが出来ました。

期間中には、台風23号の暴風雨、また降雨の日も多く収穫作業に苦労された年となりましたが、組合員各位のご協力の中、原料確保が出来、工場を止めずに操業できたことに対し感謝とお礼を申し上げる所です。また地力増進事業に際しても圃場条件の悪い中、散布にご協力頂きありがとうございました。操業実績では、製品出来高851、640袋と2年続けて製品で2万トンを超えるが出来ました。平成20年代に入り平均単収が70俵に届かない年が続きましたが、26年、27年と単収70俵を超えることが出来ました。

てん菜においては、収量、糖分ともに平年を大きく上回る予想の中、10月14日より開始しましたが予想をはるかに上回る高収量で終了できました。全道的にも高収量の中産糖量64万トンを超えることが心配な所ではありますが、てん菜にとっては、最高の年となりました。

酪農畜産につきましては、個々の生乳生産量は安定しておりますし、和牛生産に関しましても資源不足を背景に素牛価格も高値で推移しており明るい材料となっています。しかし、各生産資材、飼料などが高止まりの中、経営を圧迫し対策などは打たれていますが抜本的な底上げとは成っておりません。長期的な展望にたった恒久的な対策が必要と考えますし、畜産クラスター関連事業なども中小規模の酪農家も対象とし、安定かつ柔軟な対策の構築を図っていただきたいと考えます。

農作物は全般的に良い成績での1年でしたが、収穫期に入り天候が不安定な日が多く、10月に入り台風23号の暴風雨により大きな被害が発生しました。建物や、畑の流失、法面の崩壊、農作物の冠水など、甚大な被害を受け早期復旧に向け取り組んでおりましたが、清里町が臨時予算を組んで災害復旧工事への支援をして頂きましたことに感謝とお礼を申し上げる次第です。次年度の営農に万全な体制で望めるように取り進めて参ります。

昨年を顧みますと、10月に大筋合意となったTPP交渉ですが、秘密裏に行われ合意後各分野での交渉内容が開示されましたが、多くの農畜産物の関税撤廃、削減がされる合意内容となっております。重要5品目は守るとの国会決議の中交渉参加しており、今回の合意内容は遺憾であり決議との整合性について検証し、責任の所在を明らかにして行かねばなりません。

TPP大筋合意に伴う生産者の不安と落胆は大きく、このままでは次世代に引き継ぐことも困難となります。将来にわたり農業を安心して次世代に渡せる環境と施策の確立が必要です。今後とも組合員皆様の協力で、持続可能な農業の確立を目指した行動が必要です。また本年4月より農協法などの一部を改正する法律が施行されますが、H31年9月までに自主的な意志に基づく自律的な組織として中央会などの組織変更が必要となっています。

それに伴い各単協にも組織変更（株式会社、社団法人など）を可能とする、また組合の運営原則の変更（経済事業では買取販売を段階的に拡大するなど）、更に組合のあり方として准組合員の事業利用制限の検討（5年間の調査後）など多くの課題が提起されております。しかし、協同組合として行ってきた共計、共販体制の維持は必要であり、この体制を基本に据えながら組合員の所得向上を図って行きたいと考えております。

総合農協として事業活動を行い地域社会と連携し町の振興、発展のためにも准組合員に利用していただく事業展開を行っており、利用制限は地方の衰退を招くことになります。このような地方の実情を考えれば、利用制限は必要ないと考えております。

昨年国内初のシロシストセンチュウ（Gp）の発生が確認されました。発生後対象地域の特定の為の植物検診、まん延防止対策等を行っております。しかしながら植物検診ではゴールデンネマトーダ（Gr）の発生面積が年々拡大しており、当農協も危機感を持って対応を進めていかねば成りません。発生面積の抑制、密度の低減に向けた対応を今一度見つめなおし、取り進めて行きたいと考えております。

課題は多数ありますが、第9期5ヵ年計画を基本とし、清里農業の発展と飛躍に向け全組合員、役職員一丸となって結集し取り組んで参りたいと思います。

結びにあたり　本年も豊穣の出来秋であります事と組合員、ご家族の皆様のご健勝と更なるご活躍をご祈念申し上げると共に農協事業推進にご理解、ご協力をお願い申し上げ年頭にあたってのご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

平成28年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会
会長　飛田　稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の北海道農業は、一部地域において暴風雨被害が発生するなどの影響がありましたが、全体的にはおおむね順調な作柄となりました。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

さて、昨年の11月11日に、組合員やJA役職員等、関係者の方々の参加のもと、第28回JA北海道大会が開催されたところです。

「北海道550万人と共に創る 力強い農業と豊かな魅力ある農村」をメインテーマとして、向こう3か年にわたるJAグループ北海道の対応方針を確認いただきました。

組合員・JA・連合会・中央会が、各役割を再確認した中で、JAグループ北海道の英知を結集し、基本目標の達成に向け取り組んでいくとともに、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指すこととしております。

関係各位の特段なるご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成27年は、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意など、我が国の農業・JAにとって極めて大きな情勢変化があった一年でした。

農協改革については、その主要な目的でもある法改正と農業所得向上の関連性などについて、いまだに十分な理解が進まない中、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件が今後の検討課題となっており、改めて地域農業の振興や農協経営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組みを進めていく必要があります。

一方、TPP交渉に関しては、交渉参加12か国の閣僚会合を経て、昨年の10月5日に大筋合意がなされましたが、守秘義務を盾に交渉に関する情報開示や国民的議論がないままに、大筋合意という結果に至ったことに対して、強い憤りを覚えるところです。

今後、通常国会においてTPP交渉に係る国会審議がなされる予定ですが、改めて、政府並びに各国会議員に対して、今回の合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性について十分な説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応がなされるよう強く求めていく必要があります。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

我々農業者・JAグループは、その責任感と自負心のもと、改めて協同の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていくとともに、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る取組みを積極的に進めながら、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ、後世に継承するよう、ともに頑張ろうではありませんか。

今年の干支は申年です。

一説には、申は、伸ばすという意味があり、「草木が十分に伸び、実が成熟していく時期」を表しているとのことであります。

今年は、この申年にあやかり、天候に恵まれ実り多い充実した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶

清里町農民連盟
委員長　山崎　一幸

新年明けましておめでとうございます。

平成28年の初春をご家族で迎えられた事を心よりお喜び申し上げます。

また日頃より農民連盟の活動につきまして暖かいご理解と、ご協力を戴いております事にお礼申し上げます。

昨年は、天候も順調で、気温も例年と変わらない出だしとなりました。

少々干ばつ傾向とはなりましたが、小麦の収量や品質には特に影響がなく豊作に期待の持てるスタートとなりました。

他の基幹作物にしても、町内平均では2年連続で高収量であり更に馬鈴しょのライマン値やてん菜の糖分値も揃って高かったのは喜びでした。

平成26年からは糖度の基準が下方修正され、収入の増加に期待感がありました。

早堀当初から以前の17・1％を超える勢いには驚かされました、その後も順調に上がり20％を超えることに更に驚きでした。

産糖量枠64万トンを超える勢いには嬉しい限りですが、上限が定まっている部分では余剰となる物の処理に不安を抱えます。

私達の運動の大きな題材としてTPPが有りましたが、残念ながら、大筋合意されました。更に国内での対策も後手にし、それと81％の農産物関税撤廃にも関わらず日本農業は守ったとの言葉には遺憾を感じます。

今後の動向には最大限に注視していかなければなりません。

そこで我々各組織としての考え方として国に対して新たなる提言をしました。

農産物市場アクセス交渉合意については反対の意を継続し、本道農業の発展を可能とする国境処置を講ずる。

畑作・野菜基本政策では、土地利用型作物を基本として、輪作体系の維持や糖価調整法のような諸制度の堅持、経営安定対策の拡充・強化など、また自給率向上と価格安定対策の制度設計など。

持続的な農業の確立に向けた考え方として、経営所得安定対策を軸として農産物災害の救済策として、現農業共済と共に収入保険制度の新たなる取り組みを図りたい。麦対策としては現状のパン・中華麺用支持継続と国内麦優先を堅持して自給率向上に向けたい。

てん菜・馬鈴薯対策として、輪作体系の重要作物として生産振興として十分な予算を確保すると共に労働力の省力化に対策を講ずる。てん菜の病害や新たなるジャガイモシストに対する発生防止や蔓延防止、根本的な解決策を急務とする。

野菜等の輸送では遠隔地としてコストを抑えるのが難しく、安定的な供給を図るためにJR貨物やトラック輸送に対し国の支援を講じる事など、様々な分野で提言をまとめています。

我々としては、幾度となく国との話し合いを重ね、この地域に合った政策の実現に向け運動を進めて行きたいと思っています。そのためにも、盟友の皆さんの更なるご支援を期待致したく思います。

結びとして、本年は昨年のような災害も無く、豊穣の出来秋に喜べる事を心より御祈念申し上げますと共に、農民活動に御理解と御協力をお願いいたしまして新年の挨拶と致します。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶

ホクレン斜里原料所
所長　泉　佳史

新年明けましておめでとうございます。

平成28年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、てん菜振興並びに原料所業務に対し、組合員をはじめ農協および関係機関の皆様には、特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

平成27年度のてん菜作況を振り返ってみますと、4月下旬から5月上旬にかけて好天に恵まれ、直播播種・定植作業は平年より1週間程度早く最盛期を迎えました。その後、5月中旬に干ばつや強風による被害が一部圃場で発生しましたが、7・8月は気温が高めで降水量は少なく経過し、生育は順調に進み根部の肥大は平年を上回る状況でありました。

病害虫の発生については、昨年度に発生が拡大した西部萎黄病対策として6月11・7月2・7月22の一斉防除にご協力頂いた結果、発生が抑えられ非常に少ない結果でした。来年度についても、今年度同様の対策を継続していきたいと考えております。

生産実績については、収量が約69t／ha、糖分が17・6％で糖収量では昨年を上回る結果であり、収量については過去最高を記録する結果でありました。これも一重に組合員や関係機関の皆様の日頃からの努力と土づくりや肥培管理の成果であり、当地域の生産基盤の強さが再確認できた結果となりました。

輸送については、10月8日の台風23号の影響により、計画より1日遅らせて10月14日に早期輸送を開始し、中間は計画通り18日に開始しました。10月25日の強風で受入場の受入を一部中止した事や収量が予想を大きく上回った事により、輸送が遅れましたが皆様のご協力により11月19日に計画どおりの輸送に戻す事が出来ました。また、当区域内で国内初となるジャガイモシロシストセンチュウの発生が確認されましたが、発生ＪＡの受入施設の専用化、土壌の飛散防止対策、洗浄施設設置等蔓延防止に努めました。

ＴＰＰについては、10月5日に大筋合意となり政府が国内対策の政策大綱を決めましたが、関税の撤廃や引き下げで影響のある農林水産業に対し、予算額など具体的内容に触れていないため、安心できる状況ではありません。砂糖に関しては、現行の糖価調整制度が維持されたものの、高糖度粗糖の関税が撤廃され、加糖調製品の輸入枠が設けられる事により砂糖需要への影響が懸念されます。また、ＴＰＰの有無に関係なく長期的な支援を検討し、第1次産業が後継者に対し魅力ある職業になる対策の実現を願うばかりでございます。

さて、清里町をはじめとする区域内の基幹作物であるてん菜の生産基盤の維持に向けて、品種の開発、栽培技術向上、輸送効率向上に取組んでいくことが重要と考えるとともに地域に根差し地域に貢献できる工場を目指していきますので皆様のご協力を頂きます様よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方のますますのご健勝と本年の豊穣を心からご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせて頂きます。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶

網走農業改良普及センター清里支所
支所長　高松　聡

新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた平成28年の新春をご家族とともに迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に対し、皆様には特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年の作況を振り返ってみると、3月の上旬まで毎週のように暴風雪に見舞われ、融雪の遅れが懸念されましたが、春の訪れと共に融雪が進み、融雪期は平年並みとなりました。春先の天候が順調に推移したことから、馬鈴しょ・てん菜の植付作業は平年と比較して10日程度早く終了し、順調なスタートを切ることができました。

6月は、低温の日が続き豆類に遅れが出ましたが、7月からは高温となり、生育は回復して平年並みとなりました。

小麦の収穫が行われる8月上・中旬は降雨もありましたが皆様方の努力の結果、収穫は順調に終了し、品質は全量一等Aランク、収量は高水準となりました。特に、秋まき小麦は出穂が早く登熟期間が十分確保できたことから史上最高の収量となりました。

8月中・下旬は低温・寡照に、9月以降も気温は、平年並みからやや低く経過したことから豆類や飼料用とうもろこしに登熟の遅れが出ました。

また、台風23号や爆弾低気圧の襲来により一部に冠水や浸水の被害がみられましたが、馬鈴しょ(でん粉原料用)は、でん粉価がやや高く、収量は70俵／10aを越え、てん菜についても根重・根中糖分とも高く、2年連続、3作揃っての豊作となりました。これも一重に、皆様方の日頃の土作りや栽培管理技術の高さを現す結果と敬意を表します。

農業を取り巻く情勢は、今また大きく変化し、TPP交渉については大筋合意に至り、本道の農業に大きな影響が出ることが懸念されております。

国内においては、「新たな食料・農業・農村基本計画」がスタートし、「強い農業」と「美しく活力ある農村」の創出を目指していくこととなりました。

国内外の情勢がめまぐるしく変化し、先行きが不透明な状況でありますが、普及センターとしましては、基本となる生産力をさらに高めていくとともに、多様な担い手の確保や省力的な生産技術の構築等を引き続き支援して参ります。

また、昨年開講した「農業女性ステップアップ講座」は3回を好評のうちに終了し、新年早々に4回目を開催することとなっております。開催ニーズが高く、次年度も開催することとなりましたので、引き続きご支援を、宜しくお願いします。

結びに、本年が輝かしく豊かな年となると共に、皆様のご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶

清里町農協青年部
部長　湯浅　尚樹

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、謹んで新年の挨拶を申し上げます。

日頃より、農協青年部活動に対しまして、農協・各関係機関の皆様方には多大なるご支援、ご協力を頂いておりますことに、深く感謝申し上げます。

我々青年部は、年々厳しさを増す農業情勢の中、明るく魅力ある将来を築くべく、農協・各関係機関との連携を深め、組織活動の強化や担い手育成に力を入れているところであります。

昨年の作況は、春の蒔きつけ作業から概ね順調に進んだものの、干ばつや秋頃の度重なる雨による影響が心配されました。しかし、その後は雨の影響が若干残るものの、収穫作業は順調に進み、澱原馬鈴薯は平年並み、秋小麦、てん菜に至っては近年にない豊作の年となりました。

昨年度の青年部活動を振り返りますと、農民連盟の方々との懇談会や、ホクレン中斜里製糖工場の方々による西部萎黄病の学習会等を開催させて頂き、年々厳しさを増す農業情勢の動向や新たな病害虫についての知識、対応を学ぶ事が出来ました。その他にも、夏季視察研修、国内研修、普及センター所員を招いての学習会等の開催により、青年部部員の更なる知識や技術向上を目指してきました。

また、農協・各関係機関の皆様に参加頂いたソフトボール大会、町内介護施設へタオルの寄付、農産物販売やコンバイン展示をしている産業祭り、北見で開催されるオホーツク農業祭や清里町農協収穫祭等の行事を通じ、他団体や地域との交流、情宣活動を行って来ました。特に、産業祭りや農業祭、農協収穫祭では青年部の活動の一端を知って貰うと同時に、消費者と直接相対する事で意見や要望等を聞ける良い機会になっていると思います。介護施設へのタオルの寄付についても地域に貢献できる良い機会であり、微力ながら今後も何らかのボランティア活動が出来れば良いかと思います。

青年部活動の中で、青年部部長としてホクレン中斜里糖区てん菜振興協議会のヨーロッパ視察研修に参加させて頂き、ドイツ国内の各地域を回らせて頂きました。栽培作物や気候等、清里町の農業と似通っている部分が多いものの、営農の考え方や作業の仕方が先進的であり、とても勉強になった視察研修でした。今回の貴重な体験や学習した事を部員や地域の方々にお伝えすると共に、これからの営農に役立てて行きたいと思います。

農業を取り巻く環境は目まぐるしく変わり、TPPや農協改革等、先行きが不安な状況にあります。これから先の見えない情勢の中、組織活動を通じて地域農業・JA運動を継続発展させていくための人材育成を図り、青年部組織の役割と必要性を今一度見直し、一丸となって立ち向かっていきたいと思います。そして不安定な情勢を乗り切れるよう、更なる知識の習得と、農政運動への参加と協力をしていきたいと思っています。

最後になりましたが、農協・各関係機関の皆様には今後とも更なるご指導、ご協力をお願い申し上げますと共に皆様方にとりまして明るく良い一年でありますようご祈念申し上げまして新年のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶

ＪＡ清里町女性部
部長　菊池　淳子

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃よりＪＡ女性部活動に対して、ＪＡを始め、各関係機関の皆様方には多大なるご支援、ご協力頂きまして厚くお礼申し上げます。また女性部部員のご家族の皆様におかれましてもご理解とご協力を頂き重ねてお礼申し上げます。

昨年は1月から毎週末吹雪となり、大変雪が多く、春の蒔き付けがどうなるかと心配されましたが、4月5月と晴れた日が続き農作業も順調に進み、一昨年に続き良い秋を迎えることが出来ました。しかし、10月の台風23号の被害等、気象条件に左右される農業にとって今までに経験のない異常気象の1年でした。

今年度の活動を振り返りますと、スポーツレクレーションでは、来賓の方々にも「マフラーリレー」に参加して頂き、部員同士も楽しく交流を深められました。最後に恒例となっている「じゃがいも踊り」、「清里音頭」をみんなで踊りました。

視察研修では、旭川方面へ行き、士別市の「めん羊工芸館くるるん」でのニードル体験では、みんな真剣に集中して作っていました。

日本醤油工業株式会社では、昔使われていた工場で醤油作りの作業工程の説明を受け、たくさんのお土産を頂きました。愛別ではきのこ工場を見学して、たくさんのきのこをお土産に買う姿が多く見られました。この研修では、部員相互の交流と親睦を深め、道中のバスの車窓から他の地域の作物等を見るだけでも勉強となりました。

研修大会では女性部設立40年の節目を迎え、農協よりご支援を頂き、あぐり王国北海道にも出演している森崎博之氏の「生きることは食べること」と題して講演を行い大勢の方に参加して頂きました。またお忙しい中、食品、手芸作品、アトラクションと部員の方の協力に感謝しています。

フレッシュミズ部では、部員同士の交流を深めながら共に学び活動しています。

アカシア部会では健康管理に努めながら親睦を深めボランティア活動に取り組んでいます。

昨年の11月11日には第28回ＪＡ北海道大会が札幌市で開催され、3年に一度の大会に全道から２３００名が参加し『北海道５５０万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」』と決議しました。

10月のＴＰＰ大筋合意等、不透明な農業情勢の中、私たちが安心して農業を営んでいける政策になって頂きたいと願います。

人は楽しいことは関心を持つものです。女性部も一人ひとりが、楽しいことを見つけ、みんなで活動していけば組織の活性化やパワーアップに繋がっていくのではないでしょうか。

最後に今後とも各関係機関の皆様の変わらぬご指導、ご協力の程をよろしくお願い申し上げますと共に皆様方にとって希望に満ちた年でありますようにご祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

第４回ＪＡ清里町大収穫感謝祭

地域の方々へ日頃の感謝を込めて

11月20～21日の2日間で農機・自動車展示会が行われ、2日目の21日には、地域の方々へ日頃の感謝を込めて第４回ＪＡ清里町大収穫感謝祭が開催されました。

今年も長芋や玉ねぎなどの各種野菜の詰め放題、かぼちゃの重量当てクイズ、餅まき、女性部によるでんぷん団子、青年部の串焼き、お楽しみ抽選会など様々な催しを行いました。地産地消コーナーでは、澤田農場の手作り豆腐、ＴＯＫＯ―ＴＯＫＯのたまちゃんまん、麦香房のピザ、おくちゃん農園のプラムジャム、ブルーベリージャム、つゆ草の会の手作り石鹸、清里生うどん、生ひやむぎの販売などが行われました。また新に、パパスランド札弦による清里うどんを使用したかき揚げうどん、モンブランの清里産小麦を使用したクレープ、焼きドーナツ、和牛生産改良組合による清里和牛の販売も加わり盛りだくさんの内容となりました。

今年も女性部のでんぷん団子や青年部の豚串は好評でした。

野菜の詰め放題コーナーには開始30分ほど前から長蛇の列ができ、開始と同時にお目当ての長芋やにんじんに多くの方が殺到し、長芋はあっという間になくなるほどの人気でした。

更に、今年はＪＡ共済でおなじみのアンパンマンが会場に登場し、撮影会では多くの子供たちが集まり、会場には子供たちの笑顔が溢れていました。

恒例の「餅まき」ではご来場の皆さんが買い物袋などを持って集まり「こっちに投げてー」や「もっとちょうだい」などの楽しそうな声が飛びかう中、皆さん一生懸命お餅を拾っておりました。

最後にはお楽しみ抽選会が行われ、多くの来場者が見守る中、石井組合長が抽選を行い、地元農産物、清里焼酎、給油券、地産地消コーナー出店の各店舗より豪華景品が用意され、当選番号のアナウンスのたびに歓声が上がり会場は大いに盛り上がりました。

第４回目となった収穫感謝祭は、途中雪が降るなど決して天候に恵まれたとは言えない中来場者数は過去最高となりました。

来年も更に皆様に楽しんでいただけるようなイベントを目指し取り組んで参ります。

新規共済契約者様「温泉旅行親睦会」

イリュージョンマジックで歓喜の声！

11月27日～28日に共済課では新規共済契約者様約60名を対象に、ウトロ温泉「知床第一ホテル」において、温泉旅行親睦会を行いました。

ホテル到着前に知床世界遺産センターを見学した一同は、「この施設初めて来ました。知床の生態系や模型の展示には驚かされた。」等と皆さん興味深く見入っていました。

懇親会では熊谷専務の挨拶乾杯を皮切りに、ビンゴゲームでは豪華景品のチャンスに当たった方も当たらなかった方も、一喜一憂しつつ会場は大いに盛り上がりました。

料理長こだわりの会席料理を堪能しながら、宴会のメインであります「ミスター・アガック！マジックショー」では定番ネタの鳩だしから、アシスタント女性と繰り広げる人体切断や箱に女性が入って剣を刺す等の大技イリュージョンは緊張しながらも、すっかり魅了されました。「どこにも人が隠れるスペースなどは見当たらないのに」と、思わず大きな口を開けたまま、止まってしまいました。また熊谷専務がギロチンマジックに挑戦。「マジックなのにドキドキしました」と、大技の数々に驚きの連続で、あっという間に二時間の懇親会は終了致しました。

翌日は低気圧の発達により大荒れの予報が気になりながらも、無事に帰宅できる運びとなり、思い出多き旅行となりました。「子供も参加できて面白かった」「初めて参加したが、継続してほしい」など貴重な意見をたくさん頂きました、ありがとうございました。

今回ご参加頂きました皆さま、誠にありがとうございました。これからも皆様との絆や地域との絆を大切にしながら農協事業や共済事業と地域貢献活動の取組みを通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献して参ります。

第30回JA清里町女性部研修会

アトラクションで大盛上り

「講師の森崎 博之氏」

12月9日、JA清里町女性部（菊池淳子部長）は、清里町学習センターにて第30回女性部研修会を開催しました。

菊池部長より挨拶で「今年は春先雪が多く、蒔き付け作業が心配されたが、4月、5月と天候に恵まれ、農作業は順調に進み、昨年に続き良い秋を迎えることが出来ました。今年は設立40年の節目の為記念講演を行う事となった。限られた時間であるがアトラクション等楽しんでほしい。」等と述べられました。

講演では、「あぐり王国北海道」（HBC）でおなじみの演劇ユニット「TEAM NACS」リーダー森崎博之氏による「生きることは食べること」を題目に食べる事は大事な事であり、食べることを見直せば生きることを見直せる等食の大切さを伝えて頂きました。講演中、クイズや質問を混じえ、ユーモア溢れる巧みなトークに皆さんとても楽しそうに聞いていました。

講演終了後、食品部門の試食会が行われ、審査にはJAこしみず女性部、自女連、商工会女性部、清里町役場、普及センター、農民連盟、農協職員等に投票して頂きました。

アトラクションの最初は、4集団で「徹子じゃない部屋～on your side」でゲストのY子とT子によるリズムネタで有名な本能寺の変やCMでおなじみのライザップやティーバイティーガレージの踊りが披露されました。

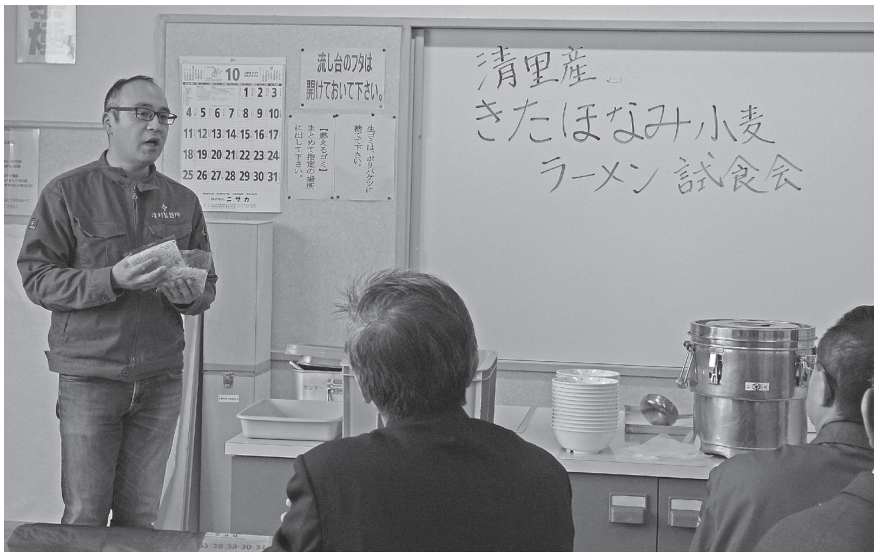
続いて3集団の「try！到来！笑ってと～らい？」では手の込んだメイクとセクシーな衣装で息の合った踊りを披露しました。

どちらのアトラクションもとても完成度が高く、会場に笑い声が響きました。

生活展出店作品は、各集団工夫を凝らした料理や手芸品が披露され、北見地区に出品する作品を発表しました。

食品部門は11品中2作品（2集団支部の「北あかりの冷製スープ」、4集団支部の「かぼちゃのバウムクーヘン」）手芸部門は、出品数19点中3作品（2集団支部の「リサイクル布で作るエコバッグ」5集団支部の「UVレジンアクセサリー」8集団手芸班の「プリーツタイプ手作りマスク」）となりました。

毎年元気で明るい女性部の研修会。今年は30回目という、節目の年にふさわしい研修会となりました。また来年どんな内容で行われるのか楽しみです。



清里産きたほなみ ラーメン試食会

10月30日、清里町生涯学習センターにて清里町産「きたほなみ」を100％使用したラーメンの試食会が開催されました。

ＪＡ清里町と清里町生涯教育課との協賛で行われたこの試食会は、櫛引町長、石井組合長を含め20名程が参加しました。

このラーメンはすでに地域の学校給食として提供されているツムラ製造の清里町産「きたほなみ」を100％使用したうどんやひやむぎに続き、新たに学校給食への提供を目的に開発されたソフト麺で、あっさりとした塩味のスープで試食されました。

今まで給食で使用されていた乾麺と食べ比べると、色が白くツルツルとした食感が特徴で、参加者からは「おいしい」という声が多数上がりました。町長からも太鼓判が押され、見事学校給食への採用が決定しました。

また、今回は現在開発中の清里町産「きたほなみ」を100％使用した生ラーメンの試食も行われ、こちらもコシが強く小麦の香りが引き立った上々の仕上がりで、参加者は早くも商品化へ期待が高まっていました。

地産地消の取り組みとして行われてきた製麺開発ですが、すでに商品化された清里生うどんと生ひやむぎも好評を得ており、さらなる地域活性化に繋がるよう取り組んでいきたいと考えています。

GPS実演会開催

GPS機能の凄さに参加者も驚く！

平成27年10月23日、中西隼人氏圃場において、GPS実演会が開催されました。今回の実演会では、GPS機器が搭載されたトラクターにてオートステアリング機能を使用し、ロータリー作業やスラローム走行を体験でき、参加者にもGPSの利便性や必要性を体感することができました。

スマートフォンやカーナビ等、日々の暮らしの中に普及しているGPSは、測量・土木業界ではすでに利用され、農業においても平成20年頃から急速に普及が進み、その9割を北海道が占めている現状にあります。

これらのようなICTと呼ばれる情報通信技術は、今後も各地域の問題解決につながることが期待されています。

当JAにおいては、10月から稼働しているRTKベース基地局を本所と札弦給油所に設置し、清里町内すべてのエリアでGPS信号を受信できる環境を整えました。この基地局からの信号を利用し、ロータリー作業をはじめ、播種、畝立て、追肥などの作業が数センチの誤差での高精度作業が可能になります。

更に、オートステアリング機能を追加することにより、作業中のハンドル操作を機械が行うため、熟練度が求められずに軽労化と高効率作業の効果もすでに実証されています。

このようなICTを活用した省力・高精度作業技術は、今後の日本農業を支える期待が高まる中、町内への普及やこれまでの問題解決に向け、現在、当JAは取り組んでいます。

各課紹介

業務課

職員の顔と名前を覚えてもらう企画。第5回目は業務部業務課10名を紹介いたします。

業務部業務課

■業務課の仕事

営農に係る各種生産資材の供給と倉庫事業、並びに麦作事業を総勢10名で組合員の負託に応えるべく日夜奮闘しています。

職員紹介

①氏名
②業務課所属年数
③趣味・特技
④最近ハマっている事
⑤今後の抱負

①**白戸　豪将**
②1年　③金魚と亀の飼育（亀は20歳になりました）
④庭木の果樹を上手に収穫すること
⑤今後も業務部一同、組合員各位の負託に応えるよう努力して参りますので、宜しくお願い致します。

①**田村　誠**
②2年9ヶ月　③読書と1週間ため撮りしたビデオ鑑賞　④土日のサウナ　⑤先日の人間ドックで糖尿と診断された事から生活改善を口だけでは無く行動で示すよう、努力しようかな・・・

①**佐藤　清孝**
②3年8ヶ月　③剣道少年団の子供たちと剣道をすること　④ジョギング　⑤明るい職場、明るい家庭、人生を楽しく歩んで行きたい。（常日頃から、何事に対しても一生懸命取り組むことが楽しく生きる事に繋がると思う）

①**辺見　勝利**
②12年　③飲酒　④息子の野球観戦　⑤一生懸命頑張ります。

①**西川　高徳**
②8ヶ月　③特になし　④映画鑑賞　⑤新しい仕事に早く慣れるよう頑張ります。

①**横川　千春**
②16年　③読書・電話対応　④左握力の回復　⑤JA職員としてなお一層の信頼と信用を受けられるよう努力していきます。

①**近藤　隆司**
②2年8ヶ月　③旅行　④日本酒を飲むこと　⑤組合員に信頼され窓口対応ができるよう頑張ります。

①**佐山　和男**
②4年目　③アウトドア・スケート　④スノーボード　⑤日々の業務はもちろん、自分にしかできない事を行っていく。

①**宮崎　涼匡**
②9ヶ月　③音楽、スポーツ、ドラム　④DVD鑑賞　⑤毎日わからないことも多く大変ですが早く仕事を覚えられるよう頑張っていきます。
　そして、プライベートも充実させていきたいです。

①**増子　彩香**
②2年8ヶ月　③アニメ鑑賞、バレーボール　④妹とピクミンをやること　⑤健康管理に十分気をつけてこれからも明るく楽しく仕事を頑張ります。

「食べる・たいせつフェスティバル」２０１５ｉｎ北見に参加

10月24日コープさっぽろ主催の「たべる・たいせつフェスティバル２０１５ｉｎ北見に農協ＦｏｏｄＡｃｔｉｏｎプロジェクトチームが参加しました。

このイベントはたくさんの生産者・食材との出会いや発見、「食（食育）」や「環境」「子育て」に対する考え方を知っていただくというテーマで行われ、農協プロジェクトチームからは清里産「きたほなみ」を使用した生うどん・生ひやむぎ・小麦粉の販売を行いました。

試食をしたお客様からは「麺にコシがあっておいしい」「のどごしがいい」との声がとても多く、世代を問わず購入していただき大変好評でした。

中には、以前テレビで観た方や清里の生うどんはおいしいと友人に教えてもらった方もおり、清里のうどんが徐々に他の地域まで広まっていると知ることができました。

今後も清里という町をたくさんの人に知っていただけるよう努力していきたいと思います。

年末・年始の業務日程について

部門 / 月日	事務所 でん粉工場	金融課	業務課 機械センター	給油所（本・支所）
12/28(月)	全部門平常営業			
12/29(火)	午前中営業	営業	午前中営業	営業
12/30(水)	休み	営業	休み	営業
12/31(木)	休み	休み	休み	営業（8:30～12:00）（札弦は 9:00～12:00）
１月１日(金)～３日(日)までは全部門休業				
1/4(月)	休み	営業	休み	営業（10:00～15:00）
1/5(火)	休み	営業	休み	営業（10:00～15:00）
１月６日(水)は全部門平常営業				

エーコープきよさと店は年内無休、また、初売りは１月４日（月）となっておりますので、ご利用宜しくお願い致します。

理事会の経過をお知らせ致します

第10回　10月6日

付議事項

次の事項について審議されました。

議案第1号　平成28年度固定資産の取得について

議案第2号　臨時懇談会の開催と懇談事項について

議案第3号　第38回臨時総会の開催について

第11回　10月28日

付議事項

次の事項について審議されました。

議案第1号　理事に対する供給限度額の変更について

議案第2号　理事に対する貸付について

議案第3号　利用組合の貸付に係る理事の連帯債務の承認について

議案第4号　固定資産の取得について

議案第5号　臨時懇談会の意見集約について

議案第6号　平成27年度規模拡大による出資増口について

議案第7号　平成27年度9月期ディスクロージャー誌の設定について

議案第8号　下期対策について

報告事項

次の事項が報告されました。

①組合員の年内資金計画の結果について

②中斜里区域てん菜振興協議会海外視察研修の参加について

③澱粉工場操業の中間報告（でん粉粕引き取り状況含む）について

④てん菜糖分状況報告について

⑤農地災害復旧補助金交付要綱について

⑥麦作センター操業の実績報告について

⑦ＪＡ清里町自動車・農業機械展示会の開催について

⑧第4回ＪＡ清里町大収穫感謝祭の開催について

第12回　11月25日

付議事項

次の事項について審議されました。

議案第1号　平成27年産玉葱及び長芋の融資単価の設定について

報告事項

次の事項が報告されました。

①でん粉工場の実績報告について（でん粉粕引取り実績含む）

②澱原馬鈴しょ受入れデーター不具合（重量差異）の調査結果について

③平成27年産種子馬鈴しょ申込みに対する配布実績について

④平成26年産長芋の本精算について

⑤平成27年産てん菜の概算払いの予定について

⑥台風23号災害復旧工事（補助対象工事）の需要集計について

⑦平成28年度麦作神威工場サイロ増設工事に係る行程表について

⑧経営定期点検（10月期）の実績結果について

⑨内部監査の実施結果について

第13回　12月16日

付議事項

次の事項について審議されました。

議案第1号　平成27年度期中値引き（奨励）の実施について

議案第2号　平成27年産でん粉加工料の決定について

議案第3号　理事に対する供給限度額の変更について

議案第4号　平成28年度土地評価基準の設定について

議案第5号　平成28年度営農計画樹立に係る作物別単価の設定について

議案第6号　平成27年度給与改定について

議案第7号　従業員に対する12月期賞与の支給について

協議事項

次の事項が協議されました。

①平成28年度事業運営方針（案）について

報告事項

次の事項が報告されました。

①てん菜糖分状況報告について

②平成26年産共計澱粉の本精算について

③平成26年産大豆の本精算について

④多面的機能支払交付金事業の取組み経過報告について
⑤オホーツクJA役員研修会の開催について
⑥組合員に対する清里焼酎、清里生うどん・生ひやむぎの配布について

伊藤　稔嗣さん（4集団）
小林　悠華（清里町水元町）

佐藤　恭祐さん（4集団）
井上　綾香（興部町）

組合員状況

〈平成28年1月1日現在〉

■組合員数　〈前回報告より〉

正組合員	（個人）	225名	（変動なし）
〃	（法人）	12法人	（変動なし）
准組合員	（個人）	1,311名	（3名減）
〃	（法人）	0法人	（変動なし）
〃	（団体）	21団体	（2団体減）
	（合計）	1,569	

知って納得！　税金講座

JA全中・JAまちづくり情報センター　顧問税理士●柴原　一

★寄附金税制とふるさと納税

国または地方公共団体（都道府県や市区町村）、その他公益性の高い一定の団体に対し寄附を行った場合、所得税において「寄附金控除」が、個人住民税（都道府県民税及び市町村民税）においては「通常の税額控除」及び「ふるさと納税控除」の特例が設けられています。

所得税の寄附金控除とは、個人が特定寄附金に該当するものを寄附した場合「特定寄附金の合計額－2000円」を所得金額から控除するというものです（税額からではありません）。特定寄附金の合計額は所得金額の40％が限度です。特定寄附金とは「国または地方公共団体に対するもの」「国立学校法人など公益事業を目的とする法人又は団体に対する寄附金で財務大臣が指定したもの」などを云います。

一方、個人住民税については、「（寄附金の合計額－2000円）×10％」により計算された金額が税額から控除されます（通常の税額控除）。寄附金の合計額は、所得金額の30％が限度です。対象になる寄附金は「都道府県、市町村又は特別区に対するもの」「住所地の都道府県共同募金会に対するもの」などが挙げられます。また、地方公共団体に寄附を行った場合、「（地方公共団体に対する寄附金の額－2000円）×（90％－0～40・84％）」が通常の税額控除に加えられます（ふるさと納税控除）。ふるさと納税控除額は住民税所得割額の20％が限度です。

なお、確定申告の必要がない給与所得者等については、寄附を行う際の寄附先の地方公共団体に申請を行えば、申請を受けた地方公共団体が必要事項を寄附者の住所地の市区町村に通知し、寄附を行った人の個人住民税について通常の税額控除およびふるさと納税控除が適用されます。さらに、寄附金控除を受けた事による所得税および復興特別所得税の減額金額も、同様に寄附を行った人の個人住民税から控除されます。ただし、5団体を超える地方公共団体に寄附を行った場合には確定申告が必要になります。

新年明けましておめでとうございます

平成28年　元旦

JA清里町　役職員一同

四季の花作り

●早川京子

★この時期、年間計画に思い巡らせよう

秋まきで育ててきた苗物には水やりをしますが、まだ地上部に顔を出していない球根類も、土の中では盛んに根を活動させていますので、水やりを忘れないように。土の表面が白く乾いてきたら、たっぷりとやっておきます。午前中の気温が上がるころに、やっておくのがよいでしょう。

真冬の花壇の作業はそれほど多くはありません。この時期に花壇の土の若返り作業と今年の花壇作りの構想を練っておくのはどうでしょうか。

花壇の若返り作業は、春咲き草花の苗や球根などの植わっていない、空いた花壇を深く打ち起こすものです。深さ30㎝ほどにスコップやくわで深いところの土を掘り起こし、表面の土をひっくり返して下層にしてやるのですが、かなりの重労働ですから、作業の少ない時期に、少しずつ進めたいものです。こうすることで、下層の土が冬の風雨にさらされて酸素を含み、また土中に潜んでいる病害虫に太陽光を当てて、密度を減らす効果も狙います。天地返しとか寒ざらしともいいます。打ち起こした後は、消石灰をまいておきます。酸性土壌の矯正のためです。雑草の根は取り除いておきたいのですが、土そのものは、このまま置いておいて、次の種まき作業、定植作業の準備のとき、細かく砕きます。

花壇作りの構想を練っておくと、適期の作業実行に役立ちます。これも比較的暇な時にやっておくとよいでしょう。何月にはこの花、翌月にはあの花という、およその開花期を並べて、年間の花歴を作り、種まき時を添え書きしておいて、園芸店やJA、また、種苗会社の通信販売で種子を求めて用意すれば、作業が遅れずに進められるでしょう。

菊は、霜よけをする、好天の日中にはよく日に当てるなどの冬至芽の管理が中心ですが、水不足で枯れることがありますので、充分なう水やりが大切です。

お肉を食べて健康に！

日本獣医生命科学大学応用生命科学部教授●西村敏英

★老化やがん予防に役立つお肉の抗酸化作用

人は生きていくために、絶えず呼吸して体内に酸素を取り入れ、食事で取り入れた栄養素を燃やしてエネルギーを作り出します。その過程で、取り入れた酸素の一部が、強い酸化作用を持つ活性酸素に変わるといわれています。活性酸素は、体内でウィルスや細菌を退治してくれる役割を果たしているのですが、必要以上に増えてしまうと、細胞や血管、タンパク質などを酸化させて損傷を与える事が分っています。

中高年の悩みである肌の染み、しわ、筋力の衰え、歯や骨が弱くなった、視力が弱くなった、疲れやすいなど、さまざまな老化現象も、活性酸素によって細胞が酸化して起きるといわれています。更に細胞の遺伝子が傷つけられ、がん細胞に変異したり、血液中の悪玉コレステロールのLDLコレステロールを酸化させ、動脈硬化を加速させる事もあります。現在、生活習慣病、認知症など、さまざまな病気の発生に活性酸素が関わっている事が知られています。

また、活性酸素は、呼吸する以外にも、紫外線、排気ガス、化学物質、電磁波、たばこ、睡眠不足、強いストレスなどが要因となって増えるので、現代人は常に酸化のリスクと向き合っているといえるでしょう。

人の体内には、もともと活性酸素の攻撃から身を守る抗酸化酵素が備わっていますが、体内で作られる抗酸化酵素は、加齢とともに減少してしまうので、食事によって抗酸化酵素の働きを補う抗酸化物質を常に取る事が大切です。

抗酸化物質としてよく知られているのは、赤ワイン、お茶などのポリフェノール、野菜や果物などのビタミンE、ビタミンCですが、良質なタンパク質源である鶏の胸肉にも、カルノシン、アンセリンという抗酸化物質がたくさん含まれています。

JA清里町 女性部

6集団支部

7集団支部

8集団支部

9集団支部

10集団支部

アカシア部会

1集団支部

2集団支部

3集団支部

4集団支部

5集団支部

発行／清里町農業協同組合
北海道斜里郡清里町羽衣町2番地
TEL 0152-25-2211 〒099-4405

編集／組合だより編集委員会
印刷／星印刷工業株式会社